



図書館通信

静岡大学附属図書館報 No.178 2026.4

- 目次 ■巻頭言 [館長：学びと好奇心と探究心を支えてくれる場：附属図書館] ■令和7年度モニター活動
■令和7年度図書館ギャラリー企画展報告 ■教員等著作寄贈図書一覧 ■図書館の動き
■令和8年度図書館開館予定表

[表紙写真：浜松分館1階 新聞・新着雑誌コーナー]

〈巻頭言〉

学びと好奇心と探究心を支えてくれる場：附属図書館



館長 小林健二 (理学部 教授)

2026年度、静岡大学では2,023名の学部新入生を迎えることができました。皆様のご入学を心より歓迎いたします。静岡大学は、前身の静岡師範学校の創設から昨年で150年を迎え、また、テレビジョン技術の開発に絶大な貢献をされた高柳健次郎先生（静岡師範学校卒、本学前身の浜松高等工業学校助教授〈当時〉、本学名誉博士）が世界で初めて「イ」の字の受像に成功して今年で100年となりました。これから節目の年に静岡大学に入学された皆さんの大学生活が実り多いものになっていくことを願っています。

静岡県には日本一高い富士山と日本一深い駿河湾があります。静岡県は気候穏やかな土地柄で、徳川家康は、浜松を立身出世の地とし、

駿府(静岡)を終の棲家としました。静岡市には、家康が好んだ鷹狩りに因んだ「鷹匠」や、江戸初期の小判は家康お膝元の駿河で作られていたことから「金座」など、家康ゆかりの地名が多く残されています。また、日本書紀や古事記に現れる日本武尊(倭建命)と縁の深い日本平からの眺望は、昔はときとして極楽浄土と見做されたそうです。手前の駿河湾と昔は島だった三保半島が極楽浄土の宝池、愛鷹山(あしたかやま)が借景、そして、富士山が阿弥陀如来の住む極楽浄土を表すそうです。富士山は、「信仰の対象と芸術の源泉」としての価値が認められ、世界自然遺産ではなく、世界文化遺産として登録されています。「一富士二鷹三茄子」。このことわざの由来は諸説あり、徳川家康が、大好物の初茄子(初物の三保の折戸茄子)の値段がとても高かったため、「まずーに高きは富士なり、その次は愛鷹山なり、その次は初茄子」と言ったという説や、正月に見る初夢の縁起のよい順に並べて言う駿河のことわざという説もあります。「一富士二鷹三茄子」は極楽浄土を表す家康の洒落ではなかったか、と思うのは私だけでしょか？

さて、皆さんは学部・学科に所属して、これから卒業までの4年間(大学院に進学すればさらに2ないし5年間)、一般教養科目や専門基礎科目から始まって学年進行につれて専門科目を学んでいくわけですが、大学にはもう一つ皆さんの学びと好奇心と探究心を支えてくれる場として大学附属図書館があります。静岡大学が掲げる「自由啓発・未来創成」の理念を育む場の一つでもあります。

静岡大学には、静岡本館には約88万冊、浜松分館には約31万冊の図書があり、そのほかにも雑誌や新聞などがあります。閲覧室にある開架資料はみなさんが自由に手に取って読むことができ、書庫の中にある多くの資料も利用できます。附属図書館には、読書や勉強ができる閲覧席のほかにも、一人静かに勉強したい人のための個人ブース、パソコンを使いながら資料などを広げて作業しやすいPCワークエリア、会話ができる部屋で机や椅子を自由に移動できグループ討論などにも利用できるハーベストルームなどもあります。また、新聞エリアには当日ならびに過去2ヶ月分の新聞があり、確かな情報に基づいて社会や生活のニュースや世界の情勢をキャッチする有効なツールとして就職活動にも役立ちます。

附属図書館には様々な分野の基礎からアドバンス的な学習図書に加え学術図書(専門書)も豊富にあります。ですから、自らの意思で多岐(他分野)に渡って深く学んで行くことも可能です。そして、異分野の人たちとのディスカッションを通して専門分野の垣根を越えた学際領域が生まれ、新しい発見が生まれるかもしれません。また、静岡本館の5階には一人用の閲覧席が並んでいて、窓側にはソファがあり、駿河湾を一望できます。ゆったりとした時間の中で読書や思索に耽ることは大学生の特権です。

また、附属図書館では、自分のノートパソコンやスマートフォンを静岡大学のWi-Fiに接続することができ、電子ジャーナルやデータベース、電子ブックを使うこともできます。静大のMicrosoft365アカウントでログインすれば自宅から使えるものもたくさんあります。電子ジャーナルやデータベースによって、世界の最新および過去の学術研究論文を読んだり調査することもできます。

新入生の皆さん、ぜひ静岡大学附属図書館に足を運んでみてください。そして、附属図書館のホームページをぜひ覗いてみてください。

(学術院理学領域 化学系列 教授)



Q) 静岡本館入口で“しずっぴー”と一緒にみんなをお出迎えしているこの“銘板プレート”は何でしょう？
(浜松分館にもあります)

A) プレートの下に解説があります ⇒ ⇒ ⇒
静大図書館からあなたへのメッセージです

本って、そこに置いてあっても語らないけど
“自ら開いた者へ語る”んだよね。
紙の本も電子の本も、どれだけ自分から
開きにいけるかで見える景色が変わるよ。



“Tolle lege.”というラテン語は、もとは古代末期西欧の思想家アウグスティヌス(354-430)の『告白』(VIII,12,29)に見えるもので、彼は人生の苦悩に沈んでいた青年時代のある日、偶然耳にした子供たちの「トッレ・レゲ」という歌声に「取って読め」という天啓を聞いて聖書を開き、奇しくもちょうどそのページから新しい生き方への決め手をつかんだという。この次第は、わが国の法然(1133-1212)がこれも自らの生きる道に悩んでいた頃のある日、善導が著した『観経疏』を誰に言われるでなく開いたところ、まさしくそこに回心への決定的な手がかりを発見したというエピソードと共通するものがある。さらに20世紀では記号学者にして作家でもあるU・エーコが小説『薔薇の名前』(1980)の印象的な終幕で、この言葉を主人公に向けられた天の声として典拠を示さずに引用している。まことに、書物というものは図書館にあるというだけでは自ら語り出すことはない。私たちが自ら「手に取り」そして「読む」という積極的な行為をもって働きかけたときに初めて、新しい大きな世界を開いてくれる。—これは本図書館が今あなたに伝えたいメッセージでもある。 2003年2月 設置



令和7年度モニター活動

静岡本館の活動

新入生向け図書館ツアー
 オープンライブラリー展示企画
 モニター選書、福袋企画
 TeX セミナー など



図書館ツアー



本を紹介しあう会

今年度は9名の学生がモニターとして活動しました。4月には、新たな取り組みとして新入生向け図書館ツアーを実施しました。ツアーの中では学生モニターへの質問タイムを設け、新入生にモニター活動や静大図書館について知っていただく良い機会となりました。

また、学生モニター講師による初心者向け TeX セミナーの開催や、オープンキャンパスに合わせて実施した「オープンライブラリー」での展示・館内ツアーなど、昨年度好評だった企画も継続して実施しました。2回のモニター選書や福袋企画などの、学生モニターが選書に関わった展示では、ほとんどの本が貸し出され、人気の高さがうかがえました。

このほか、育成型本棚企画や、学生モニター同士で本を紹介しあう会の開催など、1年を通して多彩な活動に取り組むことができました。

.....

浜松分館の活動

モニター選書、福袋展示
 静岡文化芸術大学の見学
 モニターミーティング・会議
 展示企画、七夕飾り など



七夕飾り



文芸大見学の感想会に

浜松分館では5名の学生モニターが活動しました。モニター選書ツアーは6月と12月に実施しました。いずれも5名全員が参加し、計107冊（第1回57冊、第2回50冊）を選書しました。選ばれた図書はS-Port2F「学生がつくる本棚」に並べられ、多くの学生に利用されました。7月には七夕飾りを設置し、願い事312件が寄せられ、同時に募集したリクエスト図書3冊を購入しました。また、ヨビノリたくみ氏紹介の理工系教科書展示や、オープンキャンパスでの「静大での学び紹介」掲示も行いました。9月には静大図書館の改善すべき点を把握し、来館者が多く満足度も高い図書館の工夫を学ぶため、静岡文化芸術大学図書館・情報センターを5名全員で見学しました。見学後は感想会を開き、静大図書館で取り入れたい点を話し合い、今後の活動につながる学びを得ました。12月の福袋展示では、学生モニターと職員の協働により、用意した図書のほとんどが貸し出されました。

〈令和7年度 図書館ギャラリー企画展報告〉

令和7年度に開催された図書館ギャラリー企画展示を紹介します。図書館ギャラリーは、本学学生・教職員の学習・研究成果の発表の場として設置しています。展示をご希望の方は、各館のカウンターにお気軽にご相談ください。

【静岡本館ギャラリー】

	開催期間	企画展名	主催
第1回	令和7年 7月2日～7月22日 (ラウンジ展示)	私たちの選挙 参院選 2025	人文社会科学部政治学ゼミ
第2回	7月9日～8月5日	静岡は家具産地だ！展 ～身近な木と暮らしのアトリエ～	人文社会科学部経済学科現代産業論ゼミ みぢかな木の家具モノトづくり研究所 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター森林生態系部門
第3回	10月6日～11月7日	静岡大学山岳部 100周年記念 特別企画展 ヒマラヤ 未知への挑戦の足跡	静岡大学山岳部
第4回	11月17日～11月21日	グローバル共創科学部海外研修Ⅱ (バングラデシュ)事後報告会 「現場から学んだ日本とバングラデシュの繋がり」	グローバル共創科学部海外研修Ⅱ バングラデシュ研修

【浜松分館ギャラリー】

	開催期間	企画展名	主催
第1回	令和7年 4月11日～5月8日	写真部(浜松) 2025 新歓写真展	写真部(浜松)
第2回	7月7日～7月18日	留学 Week 2025 夏	静大 SIPS
第3回	11月8日～12月4日	写真部(浜松) 写真展 2025	写真部(浜松)
第4回	令和8年 1月7日～1月27日	戦後 80年企画展 結び 一時の流れ・人の流れー	情報学部 2025年度博物館実習 受講生・情報学部村野研究室

〈教員等著作寄贈図書一覧〉

－令和7年度受入分－

この度は著作をご恵贈いただき誠にありがとうございます。

図書館では学内出版物及び学内関係者が執筆した図書を収集しています。

今後も著作を刊行された際は是非ご恵贈くださいますようお願いいたします。

(寄贈図書一覧は著作者のお名前の五十音順に配列しています。)(敬称略)

凡例

◇寄贈者名(所属)

・書名 [出版者] <役割>

配架場所【請求記号】

◇遠藤正之(名誉教授)

・金融時事用語集 2023年版(第34版) [金融ジャーナル社] <執筆> 浜・開架【338/KI48/2023】

・金融時事用語集 2024年版(第35版) [金融ジャーナル社] <執筆> 浜・開架【338/KI48/2024】

◇大岩孝彰(名誉教授)

・機構学：機械の仕組みと運動 (JSME テキストシリーズ) [日本機械学会/丸善(発売)] <執筆> 浜・開架【531.3/N71】

◇加藤憲二(名誉教授)

・Function of particles in aquatic system (Behavior of radionuclides in the environment:1) [Springer] <編著> 静・書庫【429.5/KA86/1】

・Chernobyl (Behavior of radionuclides in the environment:2) [Springer] <編著> 静・書庫【429.5/KA86/2】

◇今野喜和人(名誉教授)

・赤い首輪 [春風社] <訳> 静・開架, 浜・開架【953/R82】

◇定松文(グローバル共創科学領域)

・「からだ」のことを伝える「ことば」(ことばと社会：多言語社会研究:22号) [三元社] <執筆> 静・開架【801.03/KO94/22】

・「経験的概念としての「ポジショナリティ」の実証的研究」研究報告書：日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)(一般)「経験的概念としての「ポジショナリティ」の実証的研究」(課題番号18H00930 平成30年度-令和2年度) [ポジショナリティ研究会] <執筆> 静・開架【361.3/KE24】

・グローバル化における「地域」概念の変容 (科学研究費補助金(基盤研究C) 研究成果報告書：2007(平成19)年度-2009(平成21)年度) [定松文] <研究代表者> 静・開架【361.7/SA13】

・セクシュアリティ、権力、攪乱 (ことばと社会：多言語社会研究:16号) [三元社] <執筆> 静・開架【801.03/KO94/16】

・フランスにおける地域文化振興と社会構造に関する社会学的研究 (科学研究費補助金(基盤研究(C)(1))研究成果報告書:2004(平成16)年度-2006(平成18)年度) [定松文] <研究代表者> 静・開架【361.7/SA13】

・移住家事労働者とILO189号条約：組織化・権利保障・トランスナショナルな連帯：2015-2017年度日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究A(海外学術)プロジェクト最終報告書/ 研究代表者伊藤るり [一橋大学大学院社会学研究科国際社会学プログラム・伊藤るり研究室] <執筆> 静・開架【366.38/I89】

・家事労働の国際社会学：ディーセント・ワークを求めて [人文書院] <執筆> 静・開架【366.38/I89】

・公正な社会とは：教育、ジェンダー、エスニシティの視点から [人文書院] <執筆> 静・開架【316.1/MI75】

・再生産領域のグローバル化とアジア：移住者、家族、国家、資本 (科学研究費補助金(基盤研究(1))研究成果中間報告書:2005(平成17)年度～2008(平成20)年度) [「再生産領域のグローバル化」シンポジウム組織委員会] <執筆> 静・開架【366.2/I89】

・特集言語の復活 (ことばと社会：多言語社会研究:2号) [三元社] <執筆> 静・開架【801.03/KO94/2】

・特集社会言語学再考 (ことばと社会：多言語社会研究:10号) [三元社] <執筆> 静・開架【801.03/KO94/10】

・日本社会とポジショナリティ：沖縄と日本との関係、多文化社会化、ジェンダーの領域からみえるもの [明石書店] <執筆> 静・開架【361.3/I32】

・仏伊独における移住家事・介護労働者：就労実態、制度、地位をめぐる交渉 [一橋大学大学院社会学研究科国際社会学プログラム・伊藤るり研究室] <執筆> 静・開架【366.38/KO51】

- ・変動期ヨーロッパの社会科教育：多様性と統合
（早稲田教育叢書:35）[学文社]〈執筆〉 静・開架
【372.3/KO67】
- ◇佐野敦子（融合・グローバル領域）
 - ・女性のためのキャリアデザイン：学びあい、ともに
つくる社会の構築に向けて [ムイスリ出版]〈執筆〉
静・開架【377.9/N51】
 - ・貧困・食料・健康・ジェンダー・水と衛生（知る・わ
かる・伝える SDGs:1）[学文社] 〈執筆〉 静・開
架 【519.07/A12/1】
- ◇茶山和敏（元教員）
 - ・Protective effects of tea on human health：alk.
paper [CABI Pub.]〈執筆〉 静・開架
【498.5/J15】
 - ・緑茶革命：お茶博士の“緑茶のすすめ”決定
版：カテキン・パワーで生活習慣病を克服！[女
子栄養大学出版部]〈執筆〉 静・書庫
【498.5/O26】
- ◇シェフタル, M. G.（情報学領域）
 - ・Nagasaki：the last witnesses：hardcover
（Embers:volume 2）[Dutton]〈著〉 浜・開架
【210.75/SH14/2】
- ◇静岡大学情報教育プロジェクト(大学教育センター)
 - ・Let's enjoy computing：情報処理・データサイエ
ンス演習 第2版第2刷 2025 [学術図書出版社]
〈編〉 静・開架【007.6/SH94/2025】
- ◇辻佐保子（人文社会科学領域）
 - ・アメリカン・ミュージカルと文化表象 [小鳥遊書房]
〈執筆〉 静・開架 【775.4/Y31】
- ◇坪井秀次（グローバル共創科学領域）
 - ・シン・イノベーション思考：イノベーターを生み組
織を変革するヒント 68 [オンデマンド版] [ごきげん
ビジネス出版/クラウドサーカス]〈著〉 静・開架
【336/TS15】
 - ・失敗を防ぎ成功へ導くタイムスリップマネジメ
ント：夢・目標が叶う未来に行く方法 [オンデマ
ンド版] [ごきげんビジネス出版/クラウドサーカス]
〈著〉 静・開架【336.1/TS15】
- ◇寺嶋芳江（イノベーション社会連携推進機構）
 - ・南西日本菌類誌：軟質高等菌類 [東海大学出
版部]〈編著〉 静・開架 【474.8/TE74】
- ◇富田涼都（農学領域）
 - ・答えのない人と自然のあいだ：「自然保護」以後
の環境社会学（シリーズ環境社会学講座:4）[新
泉社]〈執筆〉 静・開架, 浜・開架 【519.8/F79】
- ◇中西洋一郎（名誉教授）
 - ・ディスプレイ・光学部材における薄膜製造技術
[情報機構]〈執筆〉 浜・開架 【549.95/D78】
 - ・ディスプレイと照明の材料技術：液晶・プラ
ズマ・有機 EL・無機 EL・LED・プロジェクター
[CMC 出版]〈執筆〉 浜・開架 【549.9/D78】
 - ・ディスプレイ材料と機能性色素 普及版（CMC テ
クニカルライブラリー:345. エレクトロニクスシリー
ズ）[シーエムシー出版]〈執筆〉 浜・開架
【549.9/D78】
 - ・バンドギャップエンジニアリング：次世代高効率
デバイスへの挑戦 [シーエムシー出版]〈執筆〉
浜・開架 【549.9/B18】
 - ・バンドギャップエンジニアリング：次世代高効率
デバイスへの挑戦 普及版（CMC テクニカルライ
ブラリー:657. エレクトロニクスシリーズ）[シーエム
シー出版]〈執筆〉 浜・書庫 【549.9/B18】
 - ・次世代照明のための白色 LED 材料 [日刊工業
新聞社]〈編著〉 浜・開架, 浜・書庫 【549.81/I16】
- ◇南富鎮（人文社会科学領域）
 - ・三浦綾子の園：北海国の恩寵 [作品社]〈著〉
静・開架 【910.268/MI67N】
- ◇西原純（名誉教授）
 - ・日本の地理学の百年 [古今書院]〈執筆〉 浜・開
架 【290.12/N71】
- ◇日本史学研究室（人文社会科学領域）
 - ・安倍郡における地方神職と京都吉田家・土御門
家：内野家文書の分析から：第53回古文書展
（古文書調査報告書:2025）[静岡市観光交流文化
局歴史文化課]〈編〉 静・開架【215.4/SH94/2025】
- ◇尾藤司（人文社会科学領域）
 - ・複数行為者の不法行為責任に関する考察：民
法 719 条 1 項後段の責任の意義と限界 [法律文
化社]〈著〉 静・開架 【324.55/B48】
- ◇堀江秀史（人文社会科学領域）
 - ・科学研究費活動報告書：寺山修司の「質問」を
問い直す：「没後 40 年記念寺山修司国際シン
ポジウム in ウィスコンシン大学マディソン校」記録
集 [[出版者不明]]〈分担研究者〉 静・開架, 浜・
開架 【910.268/TE67H】
 - ・街に戦場あり（ちくま学芸文庫:テ 18-1）[筑摩書
房]〈解説〉 静・開架, 浜・開架 【914.6/TE67/B】
- ◇前澤昭礼（元教員）
 - ・廃棄物処理・再資源化技術 普及版（CMC テク
ニカルライブラリー:188）[シーエムシー出版]〈執
筆〉 浜・開架 【518.52/H15】

・排水汚水：処理技術集成 vol.2 [エヌ・ティー・エス] <執筆> 浜・開架 【518.24/H15/2】

◇山岡拓也(人文社会科学領域)

・パレオアジア新人文化の形成：考古学・文化人類学からのアプローチ [新泉社] <執筆> 静・研究室 【220/N81】

◇山本崇記(元教員)

・自立生活運動の「継承」と事業化のはざままで：静岡県障害者自立生活運動調査報告書 [静岡県大学出版会] <編> 静・開架 【369.27/SH94】

◇楊海英(人文社会科学領域)

・Genocide on the Mongolian steppe : First-hand accounts of genocide in Southern Mongolia during the Chinese cultural revolution v. 1 : [hardcover] [Xlibris] <著> 静・開架 【222.6/Y72/1】

・Genocide on the Mongolian steppe : first-hand accounts of genocide in Southern Mongolia during the Chinese Cultural Revolution v. 2 : [softcover] [Xlibris] <著> 静・開架 【222.6/Y72/2】

・中国共産党：歴史を書き換える技術 (ワニブックス「Plus」新書:437) [ワニブックス] <著> 静・開架, 浜・開架 【319.22/Y72/S】

・帝国の地政学：トランプ政権で変わる世界戦略 [ビジネス社] <著> 静・開架 【319.2/Y72】

・未完の中国文化大革命：毛沢東と日本の連動 (PHP 新書:1448) [PHP 研究所] <著> 静・開架 【222.077/Y72/S】

<図書館の動き>

■令和7年度第1回附属図書館委員会(メール審議)
令和7年4月16日(水)～4月22日(火)

○前回議事要録の承認

○審議事項

1. 附属図書館委員会及び関連委員について
 - (1) 附属図書館委員会の名簿確認について
 - (2) 情報基盤センター運営委員会委員について
 - (3) 図書館通信編集委員会委員の選出について
 - (4) 附属図書館自己点検・評価実施委員会委員の選出について
 - (5) 附属図書館本館及び浜松分館WG委員の選出について
 - (6) 東部及び西部学生用図書選定部会委員の選出について

2. 令和7年度事業計画について

○報告事項

1. 令和6年度事業報告について
2. 学術リポジトリの登録状況について

3. 令和6年度図書館ギャラリー活動について

4. 令和6年度図書館利用セミナー等の年間実施報告

5. 図書館の刊行物について

6. 教員の皆さまへご案内

7. 学術論文等の即時オープンアクセスの義務化について

8. 電子ジャーナル転換契約によるオープンアクセス出版支援について

■令和7年度第2回附属図書館委員会(メール審議)
令和7年6月30日(月)～7月4日(金)

○前回議事要録の承認

○審議事項

1. 令和6年度附属図書館経費決算(案)について

2. 令和7年度附属図書館経費予算(案)について

3. 令和7年度学生用図書費本館・分館予算配分(案)について

4. 不用決定候補資料について

○報告事項

1. 附属図書館利用状況について

2. 静岡本館における大学発行紀要類の保存期間設定について

3. 研究室備付け図書の点検について

4. 電子ブックの購入について

5. その他 参考資料 1,2 について

■令和7年度第3回附属図書館委員会(メール審議)
令和7年10月6日(月)～10月10日(金)

○前回議事要録旨の承認

○報告事項

1. 学生用雑誌見直しのためのアンケートについて

2. 電子ブック全文試し読み+学生からのリクエスト(キャンペーン実施中)

3. 令和7年度図書館利用セミナーの実施について

○審議事項

1. 静岡大学附属図書館利用規程等の一部改正

2. 令和7年度自己点検・評価について

■令和7年度第4回附属図書館委員会(メール審議)
令和7年12月10日(水)～12月16日(火)

○前回議事要録の承認

○審議事項

1. 令和8年度附属図書館の開館日程について

2. 学生用図書費による令和8年度のデータベース購入について

3. 不用決定候補資料について

4. 静岡本館における大学発行紀要類の保存期間設定について

○報告事項

1. 静岡大学附属図書館利用規定等の一部改正

2. その他 メール審議の日数について

〈令和8年度図書館開館予定表〉

9:00-20:00	9:00-21:00	9:00-17:00	10:00-17:00	休館
------------	------------	------------	-------------	----

※開館日程は変更することがあります。最新の情報は図書館 Web サイトをご確認ください。

静岡本館

2026年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2026年 5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2026年 6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2026年 7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2026年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2026年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2026年 10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2026年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2026年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2027年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2027年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

2027年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

浜松分館

2026年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2026年 5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2026年 6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2026年 7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2026年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2026年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2026年 10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2026年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					
30						

2026年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2027年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2027年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

2027年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

